

稲光会報

34巻 48号
平成24年8月1日発行
編集者 早稲田大学稲光会
発行者 田中一宏
題字 滝口

リーグ戦終了後、監督
とともに記念撮影!



今期のリーグ戦に臨むに当たり、3月からの強化練習・合宿と部員の活動を全て見てきました。その中で、主将・上級生たちのリーダーシップが優れてい

たこと、スポーツ科学部での学習内容が良く活かされ、科学的根拠に基づくトレーニング等を十分に実践し、フェンシングに役立てる練習を全員が実に熱心にやってくれたことを、先ずOBの方々に報告します。この長期間の練習・試合に際して、監督として常々云ってきたことは、早稲田スポーツの精神的支柱である故・大西鉄之祐先生の言われてきた「練習に対する心構えは、緊張・創造・継承の精神であること」。そして、しっかりと相手を分析し合理的・科学的な厳しい練習をすることは当然であるが、最後は「勝負は理屈や無い!」信は力なり、「心だ。」との指導訓でした。部員に何回も繰り返して云い続けていますと、「監督、またですか!」と云う顔も良くありました。この繰り返しが部員に伝えることは勿論ですが、実は私自身の心に浸み込ませることもありました。

昨年リーグ戦、関カレ、そして監督として臨んだインカレでも「今一步の準備」という結果がかなり有りました。イビチャ・オシム氏の「決勝戦、今迄の一步と同じ、ただ少し歩幅が広い」との言葉をまさに実感しました。「勝負は理屈や無い!」が、昨年は言葉としては理解していても、心境として自分の心に浸み込むには至らなかったかの感がありました。そして、リーグ戦開幕、部員は勝負に眼の色を変えて立ち向かってくれました。勿論、試合展開に気を抜ける所では無く、それぞれの勝負所で「あそこやられたら!」という場面の連続でしたが、チームの団結力で乗り越え、結果的には男女フルレの同時優勝を獲得することが出来ました。

そして、他の男女エペ・サーブルでも今期のリーグ戦で部員は持てる力を十分に出し切ってくれ、一つでも上位に行くという執念を見せてくれ

1部復帰を果たした女子エペ陣

2012年度リーグ戦は、男女フルレの同時優勝、また女子エペ1部復帰という結果を残して閉幕。科学的トレーニングと、強い「心」の両輪でさらにも上を目指す。秋季シーズンへの期待が大きくなった大会だった。

男女フルレアベック優勝

この勝負の厳しさを通じて掴んでくれた力を更に伸ばして、秋のシーズンでもより以上の活躍をしてくれることを期待しています。(監督・中村立雄)

OB便り

稲光会・北海道支部の三銃士?!

昭和56年卒 武市聖

昨秋、恩師である故川名監督の偲ぶ会参列のため久しぶりに母校を訪ねましたが、その際、二期上の田中先輩から「この春卒業した弘瀬千夏が札幌に赴任したから、飲み会でもしたらいい」と聞かされました。稲光会の名簿を見ると、道内には平成8年卒の永野高輔君もいて、早速二人に招集をかけ会食を実現させました。驚くことに、三人の歳は、53・38・23と綺麗に15年間隔。弘瀬君のお父さんが僕より三つ年下と知り、年月の速



札幌ドームで2Kmリレーマラソンで40人抜き! 快挙達成直後の弘瀬先輩(国分株式会社勤務)



武市聖先輩(北海道放送勤務)

さを思い知ることに。それでも、互いの懐かしいフェンシング談議に花を咲かせると、程なく年代の垣根も無くなって旨酒を酌み交わしました。その後は忘年会など不定期に4回ほど飲み会を実施しています。今後の目標は若手の弘瀬君中心に再び三人が剣を取り、道内に早稲田旋風を巻き起こすことですがどうなることやら。監督が引き合わせてくれた今回の縁、感謝の気持ちで一杯です。

再会を楽しみに治療中

昭和42年卒 吉田友久



2010年に発症した軽い脳梗塞の経過を診察してもら

うため、月に1回通院している診療所で血液検査を行ったとき数値に異常が見つかった。国立国際医療センターで検査した結果、大腸と肝臓に腫瘍があると言われた。手術の結果大腸腫瘍は摘出できたが、肝臓の腫瘍は残り、現在は抗ガン剤で治療を続けている。薬の副作用で顔と頭に吹き出物ができて痒いのだが、再び皆様に会うことを楽しみに闘病を続けている。多くの皆さまから数々のお

稲光会・新体制の紹介

取材先で元巨人投手の水野雄仁さん(左)と並ぶ 永野先輩(北海道日刊スポーツ勤務)

4月11日稲光会総会にて、平成24年度稲光会新体制人事が承認された。これまで以上に、現役の支援を中心に、OB同士の交流もはかっていることを確認して閉会した。

- 副会長(新任)・植竹清(昭39)
- 幹事長(新任)兼ワセダクラブ 担・田中一(昭54)
- 幹事兼監督・中村立雄(昭42)
- ▼主な新任幹事と役職
- 稲光会活性化担当委員長・赤井平二(昭51)
- 会計・木田武夫(昭54)
- 稲光会活性化担当副委員長・杉山文野(平6)
- ▼部内専任コーチ
- 坂後甫(平20)
- 池内祥(平21)
- 大澤三洋(平22)
- 澤田昂太郎(平22)
- 北川宗一郎(平23)
- 山口友生(平24)
- 佐藤夏樹(平24)
- 萩原宏樹(平24)

【合宿のご案内】

今年も左記の通り夏季合宿を行います。ぜひご参加のうえご指導ご声援をお願いいたします!

9月10日出発(16日宿泊「スポーツポート寿」)
電話・0479(48)1085
住所・茨城県神栖市矢田部11785
アクセス・車の場合は東京から東関東自動車道→潮来インター→水郷有料道路→国道124号。最寄り駅はJR成田線「下総橋」駅、または同線「椎柴」駅からタクシ!

<http://wasedafencing.com/>



ホームページができました
早稲田大学フェンシング部のホームページが完成しました。部の歴史、試合結果、部員紹介、今後の予定などがごらんになれます。まだ未完成的の部分もありますが、今後少しずつ充実予定です。ぜひアクセスを!

王座男子優勝、女子準優勝

関東・関西両リーグの各種目別1位、2位の上位各4校がそれぞれ激突して覇を争う学生王座決定戦に当部は男女フルールの2種目に出場しました。

庄巻は男子フルール、春の対立命館定期戦(早大45-29で勝利)で関西の力は把握しており、決勝戦は予測通り日大との闘いになりました。リーグ戦の雪辱に燃え、そして3年連続王座戦決勝進出の意地の日大に対し、早稲田の闘志は遥かに勝利、第一試合から終始圧倒しての完璧な勝利で、55年振りに男子フルール学生王座を奪還しました。

そして、女子フルールも順調に準決勝で関西大学を下し、日大との接戦を制した朝日大との決勝戦に臨みました。逆転・再逆転の拮抗した試合展

開となりましたが、残念ながら最後に勝負の流れが相手に傾き、苦杯を嘗めての準優勝となりました。選手は納得しないでしようが、此処までの努力と全国2位の健闘を称えたいと思います。

王座の男女同時優勝は逃しましたが、秋にはまた大きな目標が待ってくださることになりました。全部員の健闘を期待しています。(監督・中村立雄)

WASEDA CLUB

カテ世界選手権 松山恭助優勝!

ワセダクラブのメンバーも現役に負けぬ活躍を見せた。以下は主な試合結果。

- ▼関東大会(2月)
 - ・小学女子
 - ・黄田佳倫・3位
- ▼カテ世界選手権(3月)
 - 松山恭助・優勝
 - ▼東日本少年大会(6月)
 - ・中学男子エへ
 - 西沢樹・6位
 - ・中学女子エへ
 - 村松花・6位

【63回関東学生リーグ】

- 5月8、9日(男女フルール)
10、11日(男子サーブル、女子エペ)14、15日(男子エペ、女子サーブル)会場 駒沢屋内球技場
- 「フルール試合結果」
- ▼男子フルール
 - 優勝・5勝0敗
 - 早大45-38日大
 - 早大45-16専大
 - 早大45-36明大
 - 早大45-14日体大
 - 早大39-32法大
 - ※男子フルール1部最終順位
 - 優勝||早大 2位||日大 3位||法大 4位||明 5位||日体大 6位||専大
 - ▼女子フルール
 - 優勝・4勝1敗
 - 早大34-35専大
 - 早大45-27日体大
 - 早大28-25日体大
 - 早大41-29法大
 - 早大38-28日大
 - ※女子フルール1部最終順位
 - 優勝||早大 2位||日大 3位||専大 4位||法大 5位||日体大 6位||日体大

- 早大20-45中大
- 早大41-45法大
- 早大45-28日体大
- 早大36-45日大
- ※男子サーブル1部最終順位
- 優勝||法大 2位||中大 3位||専大 4位||日大 5位||早大 6位||日体大
- ▼女子サーブル
 - 3位・3勝2敗
 - 早大45-40日体
 - 早大45-42法政
 - 早大44-45専修
 - 早大45-19東女
 - 早大33-45日大
 - ※女子サーブル1部最終順位
 - 優勝||専大 2位||日大 3位||早大 4位||法大 5位||日体大 6位||東女大
- 「エペ試合結果」
- ▼男子エペ
 - 4位・2勝3敗
 - 早大42-43専修
 - 早大40-45-37日体
 - 早大31-45中大
 - 早大41-44農大
 - 早大45-28法政
 - ※男子エペ1部最終順位
 - 優勝||法大 2位||専大 3位||日体大 4位||早大 5位||中大 6位||農大
- ▼女子エペ(2部)
 - 優勝・5勝0敗

【第62回大学王座決定戦】

- 6月10日
会場 中央大学八王子体育館
- ▼男子フルール
 - 優勝
 - 1回戦
 - 早大45-19中京大
 - 決勝
 - 早大45-23日大
 - ▼女子フルール
 - 準優勝
 - 1回戦
 - 早大45-23関大
 - 決勝
 - 早大38-43朝日大

新人紹介

①学部②出身高校③種目④抱負



尾上千尋

- ①創造理工学部建築学科
- ②東京都私立田園調布雙葉高等学校
- ③フルール
- ④チームに貢献できるように、個人のレベルを上げることがです



山根司

- ①スポーツ科学部
- ②香川県立三本松高等学校
- ③エペ④女子エペで学年を代表するような選手になることで、団体では先輩たちを楽にするようなプレーをすることです



小野弘貴

- ①社会科学部
- ②東京都私立早稲田高等学校
- ③エペ④先輩方に追いつけるよう練習していきたいと思っています



仙葉恭輔

- ①スポーツ科学部
- ②秋田県立秋田南高等学校
- ③フルール④怪我をしないシーズンで乗り切ること



安部凌

- ①スポーツ科学部
- ②高根県立安来高等学校
- ③サーブル④海外遠征に行くことです



山口理伎

- ①創造理工学部建築学科
- ②東京都私立早稲田大学高等学院
- ③フルール④大会などで結果を残すことです



津江碧

- ①スポーツ科学部
- ②山口県立岩国工業高等学校
- ③エペ④インカレ優勝を目標に頑張ります

U23鬼澤優勝、北川3位

6月3日からフィリピン・マニラで開催された第1回アジアU23フルールで鬼澤が優勝、北川が3位に食いこんだ。団体は男女フルール2位、女子エペ3位、男子サーブル3位。中国、韓国、イランの活躍も目立った。

鬼澤大真
私はこれまで海外の試合に出たことはあっても結果という結果を残したことがなく、今回こそは

という気持ちを持っていた。しかし、雰囲気や海外の選手に圧倒されてしまうんじゃないかと、いろいろ考えて不安も多かった。試合を



男子フルール表彰式。左から2人目鬼澤、3人目北川。左端2位は韓国、右端同率3位は中国の選手

目前にして、負けたとしても自分のできることを全て出し切って、後悔のない遠征にしようという意味で前向きに考えられるようになり、試合に臨むことができその姿勢がよい結果につながったのかなと思う。今回の優勝を糧にさらにステップアップしていけるよう、これからも頑張っていこうと思う。

▼北川隆之介

U23アジア大会は第一回と言うことで日本代表としてメンバーに選ばれたアジアで戦えた事をとても光榮に思います。これは稲光会をはじめ、多くの方の支援があったからだと思います。またその中で個人三位団体二位で二つのメダルを取れた事も嬉しく思います。個人、団体共にあと一歩だったという気持ちもありますが実力を発揮できての結果でした。この経験を糧に一層努力し、早稲田大学フェンシング部に貢献できればと思います。また日頃から応援してくださっているOB、先輩方のためにも、今後良い報告ができればと思います。ありがとうございます